

# こんにちは! かさもと俊也



匂真っ盛りの「長門ゆずきち」  
(9月：長門市俄山大羽山 吉村農園にて)

こんにちは!かさもと俊也です!県政レポート  
[vol.5] 2014年10月15日発行

## かさもと俊也の \元気ハツラツ写真レポート! /



5月 ▲日韓海峡海岸漂着ゴミ一斉清掃  
長門の美しい自然を守るため、その対策を県も応援中!今回は村岡知事、昭恵総理夫人も清掃に参加。



6月 ▲第4回鯨グッズ展 in 長門  
長門伝統のくじら文化、世代を超えて大切に守り続ける皆様へ。私も食文化を継承する会の会員となり応援中。



6月 ▲青島「カキ小屋せむら」オープニング式  
通地区にカキ小屋がオープン。生産から販売まで手掛ける若手職による6次産業化実践を応援。



7月 ▲がん対策推進条例に関する政策立案等検討会  
がんの予防・治療・緩和ケア等、一体的な対策が進められるように!政策立案検討会委員として活動。



8月 ▲高校生による白オクラ販売会  
大津緑洋高日置キャンパスの生徒による白オクラ販売会に参加し、消費者と一緒にピーアール。



8月 ▲観光地湯本の景観美化に向けグループ清掃  
湯本まちづくり協議会、温泉旅館組合、自治会など有志の皆様と共に荒れていた太宰寺旧街道を清掃。



8月 ▲プロジェクトMリニューアル  
昨年の漁協前作品に続き、全14作目となるプロジェクトMが完成。仙崎みすゞ通りの活性化を応援。



8月 ▲全国やきとリンピック in 長門開催  
他地域では出来ないオンラインの取組が、夏休み最後の週末の長門市を活性化。今後の起爆剤に。



9月 ▲長門市交通安全のつどい  
秋の全国交通安全運動を前に、市民の皆様と共に交通安全を願い、激励と街頭パレードに参加。



9月 ▲後畑の棚田で自然栽培米の刈り取り式  
昨年の3倍に作付が増やされた自然栽培米。自然豊かな向津具半島の暮らしを売る切欠づくりに。

**質問** やまぐち6次産業化  
農林水産委員会にて質問  
本県農林水産物の加工品や保存可能商品の販売力強化が重要。そのためには、6次産業化と農商工連携の相乗効果を一歩進める必要があり、総合的な支援体制を整備する必要があるが、どのように進めるのか?  
【答】蔵重企画流通課長 6次産業化と農商工連携の相乗効果をやまぐち農林振興公社に一元化し、総合的な進捗管理を行うとともに、生産者団体・商工団体・金融機関が情報を共有化する推進協議会を設置。新商品開発には専門家のアドバイスを内容審査を加え、販路開拓には試験販売箇所の確保や専門家による評価会の開催で支援。

## 県政報告会・対話集会

平成26年3月~9月まで、市内4カ所で県政報告会・対話集会を開催いたしました。  
※県政レポート vol.4以降 (36回以降) を掲載しております



**質問** やまぐちブランドについて  
下関漁港の機能強化や、「種苗をつくり育てる」資源造成など、水産業への取り組みが強化されているが、これらを水揚げにつなげていくための「水産県やまぐち」づくりに、どのように取り組むのか?  
【答】水産振興課長 拠点施設の整備もさることながら、生産面では資源が重要となるため、放流時のみならず放流後の管理について、漁業者と知恵を出し合う。先般開催された「漁業就業支援フェア」には、多くの若者が新たな担い手を自覚して参加しているのが、県として、彼らにしっかりと対応。

**質問** やまぐち和牛ブランドカ  
アップ事業について  
袋にやまぐちブランドのシールを貼付し表示しているが、鮮魚などは、何かやまぐちブランドはつきり分かる表示方法はないか?販売協力店舗を通じて徹底しているか?  
【答】水原畜産振興課長 10月までに、宮崎・鹿児島両県から脂肪交雑能力の高いものを50頭導入できるように目指している。これを含め、県内の優良雌牛200頭と県が定めた指定種雄牛との交配を、11月から1カ月間推進する。

こんにちは!かさもと俊也です!県政レポート  
[vol.5] 2014年10月15日発行  
発行:かさもと俊也事務所  
住所:〒759-4101 長門市東深川2542-3 レインボービル1階  
TEL/FAX: 0837-22-5226  
EMAIL: kasamototoshiya@gmail.com  
県政に対する皆様のご意見・ご要望をお寄せください!



安倍総理の地方創生を地元から!

山口県議員 佐本俊也  
今後とも皆様の声を拝聴し、日々の議員活動に邁進してまいりますので、相変わることのないご指導ご鞭撻をよろしく申し上げます。

**山口・ふるさと長門から  
まち・ひと・しごと創生を!**  
議員に送り出していたとき、2年9カ月が過ぎました。皆様方には、いつも様々な場面でお世話になっており、心から感謝申し上げます。  
今号では、県議会6月・9月定例会の審議結果を、最近の活動と併せてご報告いたします。  
国においては、9月に第二次安倍内閣が誕生し、ローカルアベノミクスを軸とした地域経済の再生や、人口急減に対応した地方創生に全力が注がれることとなり、今後の政権運営に期待が高まります。  
さて、平成30年には、近代日本への大きな転換点である明治維新から150年という記念すべき年を迎えることとなりますが、外交・防衛、エネルギー、人口減少などに直面する現在の社会経済情勢は、当時と同様、これまでになく解決策を求めており、まさに大きな転換期を迎えています。  
こうした中、地元ゆかりの安倍政権が操る日本丸を支える根幹の力は、全国津々浦々「地方」の力であり、長門地域も農林水産業や観光産業の分野で、他の地域にはない独自の政策を展開していかなければなりません。  
私は、長門市の目指す「ながと成長戦略」が着実に実を結ぶよう、県とも連携を密にしながら、「ふるさとづくり」の司令塔である市としてしっかりと戦術を練り、次世代の地域を牽引する「拠点」と「主役」を作りだしていくことが重要と考え、皆様からのご意見やご要望を積極的に送り届けているところです。





# 村岡県政が本格始動！

## 山口県議会6月定例会からの報告

2月に誕生した村岡県政が、いよいよ向こう4年間の県政運営指針「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」の骨子案を示し、本格的にスタート。この骨子案に沿って直ちに取り組むべき施策や公共事業の追加確保、産業戦略を一層推進する事業などが盛り込まれた6月補正予算も、333億円と異例の大きさです。

### 「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」に掲げられた5つの未来開拓戦略

- 産業活力創造戦略 ●地域活力創造戦略 ●人材活力創造戦略
- 安心・安全確保戦略 ●行財政基盤強化戦略

## 長門地域に関連する主な県事業（抜粋）

### 子育て 社会全体で子どもや子育て家庭を支えよう！



県内の産学公52団体で構成される「やまぐち子育て連盟」が誕生！職場から家庭まで幅広く、子育てしやすい環境づくりを推進。

### 県産木材や再生可能エネルギーの地元施設導入を！

油谷小新校舎に県産木材を200㎡使用！「油谷子どもセンター」や「市CATV放送センター」には太陽光発電、地熱空調設備など再生可能エネルギーを導入。



## 環境

### クルーズ船の誘致を推進！

三方に開けた海、多くの観光地を有する本県の強みを活かし、クルーズ船の寄港を推進！5月、仙崎湾に寄港した「ばしふいつくびいなす号」。



## 観光

### 大河ドラマを起爆剤に！



大河ドラマ「花燃ゆ」での観光需要拡大に向け、PRやおもてなしの充実を進める市町を支援！長門市では楳取夫妻・維新150年関連の企画展や商品開発。

### ラグビーワールドカップ2019 キャンプ地招致に向けて！

各種世界大会のキャンプ地招致に向け、県庁全体で取組強化！長門市のラグビーWCキャンプ地招致委員会もしっかり応援。



## スポーツ

### 暮らし JR渋木駅の待合環境改善を！



通学や観光での交通結節点であり、ほたる祭りの拠点ともなるJR渋木駅の老朽トイレを水洗化へ。

### 地域づくり 農山漁村に元気と活力を！

県職員による「中山間地域応援隊」に加え、大学生などを地域づくりに投入！東後畑での自然栽培米刈取りや農業ファッションショーには安倍昭恵総理夫人も参加。



### 福祉 深川小に萩総合支援学校小・中学部の「分教室」



市外の総合支援学校に通ってられる児童生徒に朗報！来年4月、深川小に萩総合支援学校の分教室が開校。

## 道路

### いのちをつなぎ、九州・東アジア経済圏と地場産業を結ぶ道路の早期整備を！

#### 山陰道（国道491号線バイパス）

市内随所で工事用道路の整備が始まっている長さ5.5kmの「長門・俵山道路」。山陰道の県内総延長115kmのうち未着手率が82%という現状を受け、山陰道建設促進県議連は俵山一ノ下間、萩一益田間の一刻も早い事業化と全線の早期完成を訴え、国へ要望活動を続けています。

#### 県道38号線（美祢油谷線）

油谷・坂根間が整備された国道491号線から俵山側へ分岐し、七重地区經由大羽山交差点までの全2車線化が、平成30年度供用開始に向け進行中。完成すれば、市内はもちろん油谷・日置地区から下関・九州への接続向上とともに、産業道路としての活用が見込まれます。



### 半島地域の不安解消に向けた道路・橋りょう整備を！ 県道283号線（青海島線）

半島地域の災害時や救急時における不安解消に向け、青海大橋の長寿命化が不可欠。下り線は築48年に及ぶほか、塩害による消耗、船舶との接触事故も発生。万一の場合にも安心して市内とつながるよう、半島地域の暮らしを支える社会基盤整備に引き続き尽力します。

### 木屋川ダム嵩上事業と県道34号線（下関長門線）

木屋川ダムの嵩上げは10月から環境調査がスタート。嵩上げに伴う南北2県道の付け替えや山陰道・俵山一ノ下間整備と同時施工になる可能性があるほか、俵山地区の世帯も嵩上げに関係するため、適切な周辺道路整備が進展するよう皆様の声を引き続き届けます。

## 農林水産

### 農林水産副委員長として各地を訪ね「ながと成長戦略」をバックアップ！

#### 需要に応じた園芸作物生産体制構築を！



農業の生産性向上を目指し、担い手への利用集積を目的とする農地中間管理機構補助事業を活用して、長門市では「一市一農場構想」が進行中です。一方で、需要のある園芸作物の生産振興も重要。山陽小野田市の（有）グリーンファームでは、JAや市場と連絡を密にする「出口」を見据えた経営により、ハウスでの園芸作物の生産拡大や、若者の雇用拡大につなげています。こうした手法をながと成長戦略に活かすとともに、県内に拡げられるよう努めます。

#### アワビ種苗生産能力の強化！

県外海第二栽培漁業センターに紫外線滅菌装置が増設され、県内での需要に対応。このアワビ稚貝が黄波戸地区の施設でも中間育成。



#### 危険ため池パトロール



豪雨災害等での決壊に備え、油谷地区の滝が浴ため池や桂河内ため池、日置地区の神田ため池を改修中。日置地区菅無田ため池の点検を視察。

#### 漁業者の所得向上へ！

漁業者グループ「新鮮田布施」は、6次産業化の取組を、39歳のニューフィッシャーを先頭に、地元漁師6組で進めています。その取り組みは全国漁業者意見発表会で農林水産大臣賞を受賞。地魚加工と積極的外販により、漁業者の所得向上に繋がっています。漁業者がこうして、懸命に汗を流す取り組みをながと成長戦略の中で活用することはもちろん、県内に拡げられるよう努めます。



### 県議会9月定例会からの報告

9月補正予算は、岩国地域での豪雨災害復旧対策を中心に35.8億円。今夏、知事自らが県内19地区へ出向き、開催された「どこでもトーク」での県民の皆様のご意見も踏まえ、「未来開拓チャレンジプラン」の素案が示されました。観光振興に関する条例を来年度末までに制定することや、県産農林水産物をPRする「ぶちうま売込隊」の結成など中山間地域の産業まで広く配慮する内容が盛り込まれています。私は、「未来開拓チャレンジプラン」に沿って、長門地域で県事業が積極展開されるよう、全力を尽くします。